

1) システムの名称 :

HeSeL MD Professional (ヘッセルエムディプロフェッショナル)

2) 対象業務、電子カルテシステム内での位置付け :

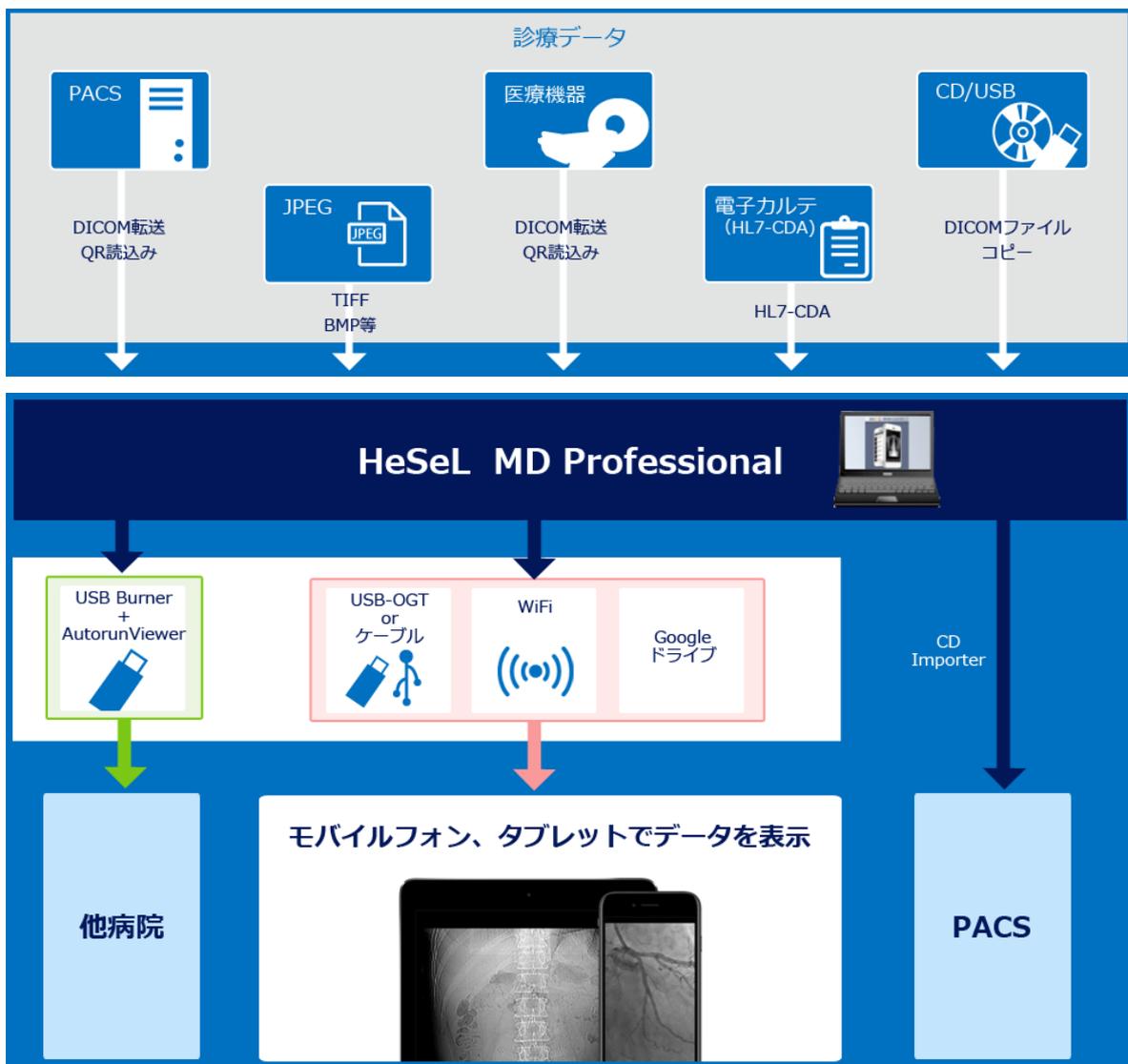
5. 画像検査系

3) 特色 :

- DICOM、JPEG(TIFF、BMP等)、PDF、MPEG4、HL7-CDAを受診者やドクターのスマートフォン(タブレット)に転送できます。
- 大容量のDICOM画像をあっという間に受診者やドクターのスマートフォン(タブレット)に転送できます。
- DICOM Viewerも一緒に書き込まれるため、DICOM Viewerが入っていないパソコンでもDICOMを表示できます。
- 他病院から持ち込まれたCD/DVDのDICOMをPACS ServerにDICOM転送できます。その際に当該病院の受診者IDに変更することができます。

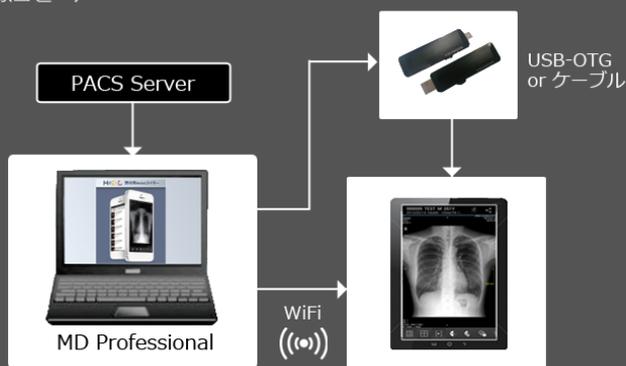
4) 画面/構成図を含めた分かりやすい説明 :

■ 健診データ配信の流れ



■ ドクターの活用方法

回診時活用（画像コピー）



回診の前に、HeSeL MDからUSB(OTG)またはWiFiを利用し、担当患者の検査画像をダウンロードします。
回診の際、タブレット（スマートフォン）の画面を患者様に見せながら経過を説明します。

院外より救急画像を診断し処置を指示



院外で救急患者の画像の読影が必要になった場合、ドクター個人のGoogleドライブにアップしてもらいます。
アップロードされた救急検査画像をHeSeLアプリを利用しダウンロード、迅速に閲覧・処置の指示ができます。

5) 標準化への対応状況、未達成の場合対応予定および対応のための追加費用の有無：

・DICOM (ver. 3.0) ・HL7-CDA (Ver. 2) ・PDF ・MPEG4

6) 動作環境（ソフトの場合）、ハードスペック（ハードの場合）：

OS：Windows 7 以降、 HDD：250GB 以上、RAM 2GB 以上

7) 稼働までに必要な作業・期間：

稼働までに必要な作業期間は目安として1日

8) 価格（桁数（日本円における桁数）、「ご相談」は不可、桁数帯・金額・金額帯を入れても良い）：

初期導入費用：6桁（他システム運動・機器費は除く）

年間ライセンス更新費用：6桁 / 年

9) 保守の内容と費用：

初期教育：オペレーション説明、マニュアル配布

初期導入保守：運用開始時立会い

遠隔保守：遠隔ソフトのセットアップ、遠隔操作（訪問費用は別途）

10) 問い合わせ先（販売会社 担当者、URL、e-mail等）および開発元（もし別途あれば）：

開発元

株式会社 HeSeL

東京都中央区八丁堀 1-11-3 ディアレスト東京 8F

TEL：03-3553-1201 FAX：03-3555-5122

URL：<http://www.hesel.jp>

MAIL：sales@hesel.jp